

# 1. 感染症速報

第14週 3月31日		～ 4月6日		作成元:長崎県岩崎保健所 企画保健課			
状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名
定点当り		定点当り		定点当り		定点当り	
インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	0.00	0.00	0.00
警報:開始30 終息10	警報:開始- 終息-	警報:開始3 終息1	警報:開始8 終息4				
感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	1.00	0.00	0.00	0.00
警報:開始20 終息12	警報:開始2 終息1	警報:開始5 終息2	警報:開始2 終息1				
突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	新型コロナウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.33
警報:開始- 終息-	警報:開始6 終息2	警報:開始6 終息2	警報:開始- 終息-				

※定点数3:インフルエンザ  
新型コロナウイルス感染症  
※定点数2:上記以外の疾患

	発生報告なし		少数の発生あり		流行に注意【注意報レベル】		流行中【警報レベル】
--	--------	--	---------	--	---------------	--	------------

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし。)。注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

# 2. トピックス

## ★4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まっています

平時より

- ①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握
- ②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備
- ③国内の急性呼吸器感染症の発生状況

について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備することを目的とし、急性呼吸器感染症を5類感染症に位置づけることとなりました。

本サーベイランスの対象になると医師が判断した一部の方には、**検体採取をお願いすることがあります**ので、ご協力をお願いします。

検体採取にご協力いただいたとしても

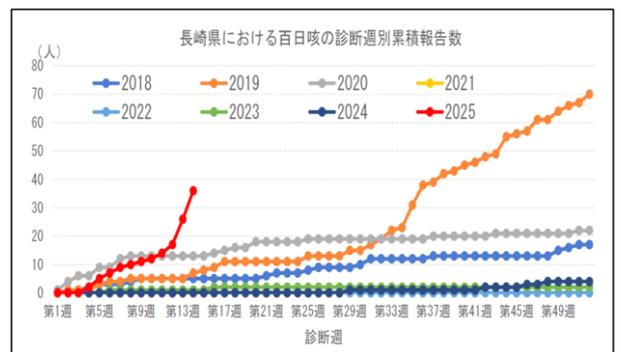
- ⑦インフルエンザ等のような就業制限や登校制限は発生しません
  - ⑧検査費用の負担を求められたり、入院するよう求められることもありません
- のでご安心ください。

## ★百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。

潜伏期は通常5～10日、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

ワクチンの定期接種により発生数は激減していますが、県内において2025年は、第14週までに36件の報告があり、**全数把握疾患となった2018年以降において、最多のペースで患者数が増加**しています。年代別では、10代が約8割を占めています。感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。



## ★マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。これらの感染症の報告数は、ダニの活動が活発になる**4月頃から増加**します。県内では2025年第14週までに2件の報告が上がっており、注意が必要です。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。

もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。

長崎県におけるダニ媒介感染症の発生件数

年	2020	2021	2022	2023	2024	2025
SFTS	8 (0)	6 (1)	6 (2)	13 (0)	13 (3)	2
日本紅斑熱	18 (0)	28 (3)	22 (0)	14 (0)	23 (0)	0
つつが虫病	11 (0)	14 (0)	7 (0)	15 (1)	11 (1)	0

※( )は第14週までの発生件数